

組織・グループ名	おれんぢせえぶ
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 <ul style="list-style-type: none"> ○ ①当事者支え合い・当事者支援の促進 ②地域福祉ニーズ(課題)への対応 ③福祉の学び(参加型福祉教育)の推進 ④福祉コミュニティの構築 ● 協働事業助成 <ul style="list-style-type: none"> [1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動]
助成事業名	心の病を抱える人の居場所づくり、安らぎの場の提供としての活動

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

おれんぢせえぶ

こころの病や悩みを抱える人、居場所が欲しい、話をしたい・聴きたい人ために、退院支援をしている神奈川県西部のピアサポーター他、有志が集まって立ち上げたフリースペースです。「おれんぢせえぶ」という名称には、居場所(=俺ん家)を守る(=セーブ)という意味合いが込められています。

●活動の様子

参加者の中心は当事者ですが、ご家族・支援者・ボランティアの方々も含め、毎回20名程度で、月1回、神奈川県小田原市と南足柄市の公共施設の会議室を借り、フリースペースを開催しています。

会場には机と椅子をランダムに並べ、皆さん自由に席を選び、お話をしています。必要に応じて、ピアサポーターが自身の経験や社会資源についてお話させていただいたり、個別に相談にのったりもしています。



○コロナ禍での新たな活動スタイルについて

・オンライン開催の導入

通常のフリースペースの会場をオンラインでもつなぎ、オンラインと会場のハイブリッドでの開催を行っています。

オンライン開催を開始したことにより、お住まいが遠方であるなどで会場には足を運べない方や、会場参加のハードルが高かった方などにもご参加いただけるようになりました。

・機関紙「no rain no rainbow」の発行

人との交流にも制約が出てきてしまっている中でも、つながりを保っていく別の方法を考え、機関誌を発行し配布したり、SNSで発信したりしています。

アンケートを募って紹介するなど、皆さんと紙面を創りあげていくことを意識しています。

今後も SNS 等で発信していきますので是非チェックしてみてください。



●今後の展望

地域にリカバリーの風をふきこむためのあらゆる活動を企画、実施していきたくと考えています。また、オンラインの活用により今まで出会えなかった様々な地域の方々、団体の方々ともつながれるようになりました。地域に根ざしつつ、よりたくさんの必要とくださる方々と「つながる・むすぶ・ひろがる」ように活動していきます。